

うすきで 充電中。

臼杵市観光パンフレット



- ビジネスホテル（臼杵地域）
- ・クレドホテル臼杵
臼杵駅前 ☎0972-63-5666
 - ・ホテルニューうすき
千代田区 ☎0972-64-0777
 - ・ビジネスホテル すが野
新町 ☎0972-63-3388
 - ・ニューホテル玉屋
臼杵駅前 ☎0972-63-2898

- 旅館（臼杵地域）
- ・五嶋旅館
浜 ☎0972-63-1051
 - ・喜安屋旅館
港町 ☎0972-63-6600
 - ・かどー旅館
二王座 ☎0972-63-1939
 - ・臼杵 湯の里
深田 ☎0972-65-3711
 - ・春光園
祇園西 ☎0972-63-3128
 - ・俵屋旅館
六ヶ迫 ☎0972-62-3526
 - ・川口屋旅館別荘 久楽
下ノ江 ☎0972-64-2000
 - ・旅館海の家
佐志生 ☎0972-68-3111
 - ・ホテル蔵
祇園西 ☎0972-64-0616
 - ・茶旅庵 蓮
深田 ☎0972-65-2528
 - ・石仏旅館
深田 ☎0972-65-3358

- 民宿（臼杵地域）
- ・黒島荘
佐志生 ☎0972-68-3939

- 宿泊（野津地域）
- ・橘屋（たちばなや）
野津町板屋 ☎0974-32-2026

- 交通機関連絡先
- ・JR 臼杵駅 ☎0972-63-8955
 - ・大分バス総合案内所 ☎097-532-7000
 - ・臼津交通株式会社 ☎0972-63-3153
 - ・宇和島運輸フェリー ☎0972-63-5118
 - ・九四オレンジフェリー ☎0972-62-5844
 - ・臼杵タクシー ☎0972-63-3311
 - ・富士タクシー ☎0972-62-4111
 - ・野津タクシー ☎0974-32-3339
 - ・日産レンタカー ☎0972-63-4132
 - ・(株)トヨタレンタリース大分 ☎0972-64-0180

- 空と陸
- ・大分空港へ 東京から1時間45分 名古屋から1時間5分
大阪から55分 沖縄から1時間45分
 - ・大分空港からサウスライナー（バス）で1時間30分
 - ・大分駅から日豊本線特急35分で臼杵駅
 - ・大分自動車道・鳥栖JCより約2時間
 - ・北九州市から東九州自動車道経由で約2時間
 - ・宮崎市から東九州自動車道経由で約2時間30分

- 鉄道
- 新幹線で小倉へ 東京から6時間 名古屋から4時間
大阪から3時間 広島から1時間
 - ・小倉から日豊本線特急2時間35分で臼杵駅

- 海
- ・愛媛県八幡浜からフェリー2時間15分で臼杵港



町並みガイド

団体名	申込先	料金	案内地域
うすきタウン ツーリズム研究会	TEL:090-7380-4337 (代表代理 長瀬 誠)	有料	・臼杵城下町観光ガイド ・臼杵城址ガイド ・古地図で町並みガイド
うすき町並みガイドの会	TEL:0972-63-7898 FAX (会長 石崎 達雄)	有料	・町並み散策エリア ・二王座歴史の道 ・臼杵城跡等
臼杵石仏 ボランティアガイドの会	TEL:0972-65-3300 (石仏事務所)	無料	・臼杵石仏

■お問合せ

臼杵市観光交流プラザ	☎0972-63-1715	FAX.0972-64-7117
臼杵市おもてなし観光課	☎0972-64-6080	FAX.0972-63-5388
(一社)臼杵市観光協会	☎0972-64-7130	FAX.0972-64-7117
臼杵石仏事務所	☎0972-65-3300	FAX.0972-65-2010
臼杵市歴史資料館（火曜日休館）	☎0972-62-2882	
旧臼杵藩主稲葉家下屋敷	☎0972-62-3399	
野上弥生子文学記念館	☎0972-63-4803	
吉丸一昌記念館『早春賦の館』	☎0972-63-7999	
吉四六の里観光協会（臼杵市野津庁舎）	☎0974-32-2220	FAX.0974-32-2224



城下町
うすき
あるき

戦国時代、九州六方国を治めたキリシタン大名大友宗麟が、永禄五年（一五六二）、四方を海に囲まれた天然の要塞であった丹生島に丹生島城（臼杵城）を築城しました。その当時の臼杵は、明やポルトガルの商人が行きかう国際的な商業都市として大変栄えました。

現在の町並みは、美濃（岐阜県）から慶長五年（一六〇〇）に入封した稲葉氏によって築かれました。

城を中心に、商家がたち並び、その外側を武家屋敷や寺院が取り囲むように町が形成されていることが大きな特徴です。

曲がりくねった道やカギ型の通などぶらぶらと歩くのが臼杵の楽しみ方です。来るたびに古いもの、そして新しいものの発見が必ずあります。



ゆっくり、ゆったり臼杵時間

「うすきあるきMAP」を手に町歩きを楽しみませんか！

うすきあるきとは？

観光交流プラザをスタート・ゴールに、マップを片手に自分のペースで好奇心のおもむくままに、いろいろなところを立ち寄りながら、臼杵の街歩きを楽しめるコースです。

USUKI
ARUKI



うすきのまちの
ランドマーク
観光の拠点＆
市民の交流プラザ



臼杵市観光交流プラザ
臼杵の観光はここから始まる！！



「特産品紹介コーナー」
臼杵市のお土産品、特産品の紹介・PRコーナーを設けています。



パネルでは伝えきれない情報を
フォトフレームで発信！

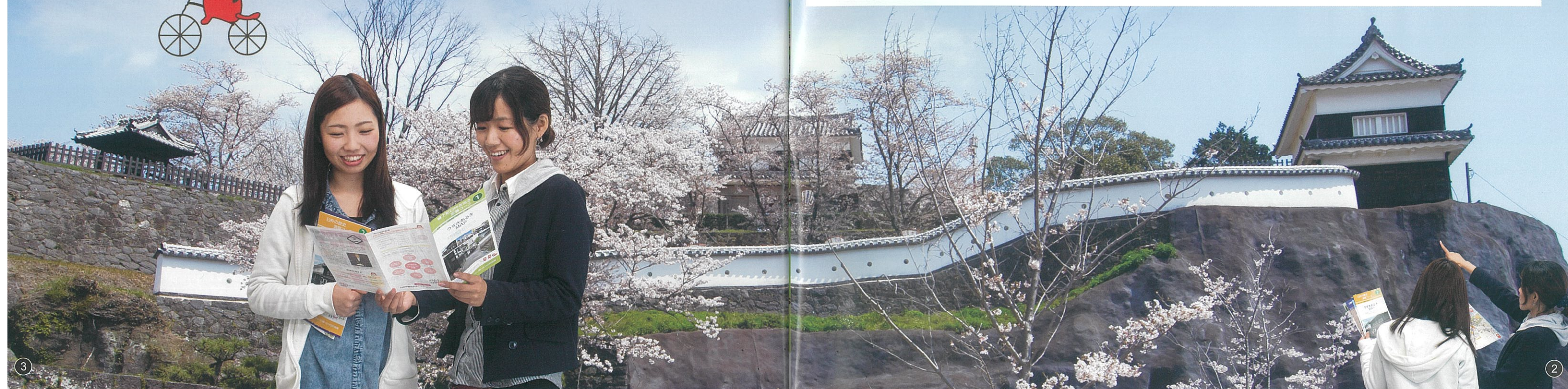


「オリエンシアター」
臼杵を知る最短コースかも！

臼杵を知る、めぐる、堪能する

観光情報案内コーナーや季節のイベントコーナーのある1階では、臼杵の観光・産業・歴史などの情報をわかりやすく展示しています。町歩きの出発点としての情報は、ここに集約されています。

そのほか、観光客や市民が自由に使えるスペースもあり、案内所ではコンシェルジュが常時対応いたします。



国宝 白杵石仏

ときを旅する。こころを旅する。

古園石仏

中尊の大日如来像は、切れ長の目に引きしまった口元が極めて端正で、気品あふれる表情を作り、各方面から限らない絶賛を受けています。以前は、落ちた仏頭が仏体下の台座の上に安置され、長く人々に愛され続け、世界的にも有名でした。保存の為の修復に合わせ、仏頭も昔日の見事な姿に復位されました。平安後期の作。

古園石仏大日如来像に代表される白杵石仏（磨崖仏）は、平安時代後期から鎌倉時代にかけて彫像されたと言われています。その規模と、数量において、また彫刻の質の高さにおいて、わが国を代表する石仏群であり、平成七年六月十五日には磨崖仏では全国初、彫刻としても九州初の国宝に指定されました。平成二十九年金剛力士立像二体の国宝への追加指定が決定し、六十二体ある全ての磨崖仏が国宝に指定されることとなります。石仏群は四群に分かれ、地名によって、ホキ石仏第二群（堂ヶ迫石仏）、同第二群、山王山石仏、古園石仏と名づけられています。

ホキ石仏 第一群（堂ヶ迫石仏）

山王山石仏



ホキ石仏第一群第2龕（がん）

平安後期から鎌倉期に至るまでの磨崖仏が20数体並び、まさに壮観です。4つの龕からなり、第1龕は、如来坐像3体と菩薩立像2体、第2龕は阿弥陀如来坐像、薬師如来坐像、如来坐像の3体、第3龕は大日如来像ほか4体、第4龕は地藏菩薩半跏像並びに十王像の11体で、いずれも秀作ぞろいです。



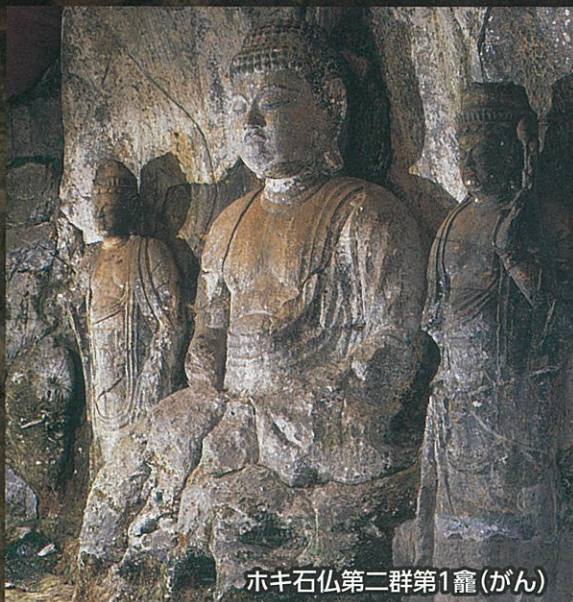
中央に丈六の如来像と左右に脇侍の様に如来を刻む三体の如来像で構成されています。仏像の顔は輪郭が丸く、目鼻は小じんまりとして童児のそれをおもわせ、今にも語りかけるような口もとなどは、邪気のない純真無垢な童顔そのものです。通称「隠れ地藏」と言います。



古園石仏前に願い札を入れていただく「御祈願箱」を設置しており、年3回（1,5,9月）仏教会有志寺院の僧侶により特別祈願法要が行われています。

特別祈願法要

ホキ石仏 第二群



ホキ石仏第二群第1龕（がん）

2龕からなり、第1龕には阿弥陀三尊像が見事な技術で彫り出され、その堂々とした体、中尊と両脇侍のそれぞれに異なった豊かな表情など、まことに見事な磨崖仏です。第2龕は、「九品の阿弥陀」と呼ばれ、比較的小さな仏像が彫られています。

金剛力士立像



古園石仏の諸仏像と製作技法がよく似ていることから、この金剛力士立像はいずれも古園石仏と同時期に、参道の山門の二王（二体の金剛力士という意味）として彫刻されたものではないかと考えられます。

観光施設料金表

国宝 白杵石仏 TEL0972-65-3300

- ・大人（高校生以上） 550円※30人以上から
- ・小人（小中学生） 270円 団体割引あります。

★お得な共通券をご利用ください

4施設
共通券

・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
・野上弥生子文学記念館・吉丸一昌記念館
1,140円（大人券）／560円（小人券）
※共通券は上記の全ての施設で購入可能。

2施設
共通券

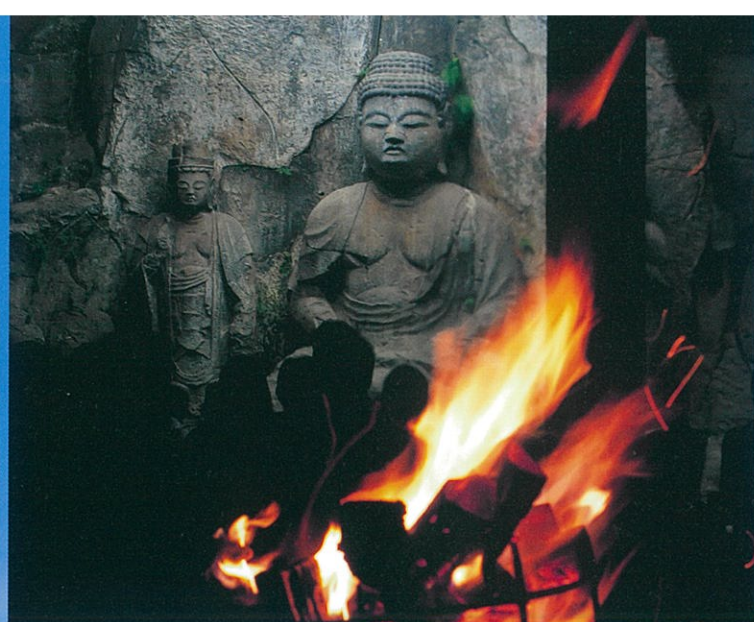
・国宝白杵石仏・旧白杵藩主稲葉家下屋敷
710円（大人券）／350円（小人券）
※共通券は上記2施設で購入可能。

白杵石仏ボランティアガイドの会

- 申込み先／TEL0972-65-3300
- 案内地域／白杵石仏 ○ガイド料／無料
- 受付時間／午前9時～午後3時まで

深田の里 こころの小径

緑豊かな自然に囲まれた深田の里。
白杵石仏公園入口の出会い橋を渡ったところから、「深田 心の小径」は始まります。国宝白杵石仏の石仏群に見守られ、日本・中国の偉人の言葉を刻んだ沿道の石碑に癒されながら、穏やかな時をお過ごしください。



国宝白杵石仏まつり

白杵石仏群などの前に置かれたかがり火と参道や深田地区一帯に並べられた約1000本の松明が一斉に点火され、石仏周辺一帯が幽玄の世界に包まれる。幻想的なお祭り国宝白杵石仏まつりは8月の最終土曜日に開催されます。

石仏周辺蓮畑
7月中旬～8月中旬見頃



四季の花



石仏周辺シバザクラ
3月中旬～4月中旬見頃



石仏周辺コスモス
9月中旬～10月中旬見頃



①宝篋印塔

満月寺境内の北端に立ち、通称日吉塔と呼ばれています。台座からの総高4.2mで鎌倉後期の作と言われています。



②満月寺

満月寺は、伝説によれば白杵石仏の縁起に欠かせない真名長者の発願により三重町内山蓮城寺を開いた蓮城法師によって創建されたと言われています。



③仁王像

満月寺境内にある。膝から下が土に埋もれ、力強い作風であるが、ユーモラスな表情をしています。



④蓮城法師像

真名長者のもとで石仏を彫ったといわれる人物です。



⑤真名長者夫妻像

石仏を造らせた人物と言われています。室町期作。



⑥化粧の井戸

伝説によると顔にキズのあった玉津姫が、この井戸で顔を洗ったところきれいにキズがとれ、美人になったと言われています。



蓮まつり

毎年7月中旬から8月上旬にかけて深田の白杵石仏公園で蓮の花の見ごろを迎えます。期間中もイベントも盛りだくさん。毎朝美しく花開く蓮の花はまさしく癒しの空間に。

深田の里 ご案内図



日本の心が 息づくまち 臼杵



龍原寺三重塔

龍原寺の三重塔は太子塔とも呼ばれ聖徳太子を祀る塔です。安政5年(1858)に竣工したこの塔は九州に2つしかない江戸期の木造三重塔の一つとして知られています。



旧真光寺

廃寺を改修した市民ギャラリー兼休憩所(入場無料)



旧丸毛家屋敷

稲葉家下屋敷につづく上級武士の屋敷で、一般公開しています。静かな住宅街の中でこの空間だけが時間が止まっています。(入場無料)

二王座歴史の道

二王座付近は、狭い路地のいたるところに城下町特有の面影をのこしています。中でも岩を切り割って道を通した「切通し」と呼ばれる二王座歴史の道付近は、臼杵を代表する景観となっています。



うすき竹宵

毎年11月の第1土日に二王座周辺で開催されます。



「江戸時代初期の九州図」
かなり細かく正確なのは、島原の乱もあって幕府が
詳細地図を欲したためと言われます。



元禄年中御改豊後国絵図控
江戸時代の元禄年間(1688~1704年)に、幕府の命令
で作られた豊後国の絵図。本来巨大なこの絵図を約4m
四方に縮小。当時は将軍がこの上に乗って見ていたと言
われます。



延宝4年(1676年)ごろの臼杵城下の絵図は原寸で巨大な床パネルに!(複製)



「古い絵図」



通年手形
一般660円、学生330円で年間パス
ポートとなる「通年手形」があり、所蔵
する「竹取物語」の12のシーンをデザ
イン。好きなデザインを選べます!

「現代の空撮写真」

臼杵市歴史資料館



大友宗麟公レリーフ
(日名子実三作のレプリカ 臼杵公園内)



フランキー
国崩し(佛狼機砲)のレプリカ
(臼杵公園内)



大友宗麟

宗麟(本名=義鎮)は、21代当主として家
督を受け継いでからは、海外貿易で得た
富と優秀な家臣団に恵まれ九州全土へ
とその領土を広げ、永禄3年(1560年)に
は九州6ヶ国(豊前・豊後・筑前・筑後・肥
前・肥後)の守護職と九州探題に任ぜら
れました。弘治2(1556年)、府内の館(今
の大分市)から臼杵丹生島城へ居を移
し、臼杵の「まち」の繁栄の源を築まし
た。晩年の天正6(1578年)には自ら臼杵
で宣教師カブラルについて授洗し「ドン・
フランシスコ」と称しました。



サーラ・デ・うすき
大友宗麟時代に実在したと言われ
るノビシャド(修練院)を模して作ら
れました。町中のにぎわいと食の情
報発信を行っており、臼杵の魅力を
感じることができます。



久家の大蔵
江戸時代後期(1868年)、臼杵市浜
町に建築され、長年酒の貯蔵庫とし
て使用されていた。大蔵の壁面にポルト
ガルの伝統的装飾絵タイル「アズ
レージョ」をほどこし、南蛮文化交流
施設として蘇りました。
ロジェリオ・リベイロ氏作
平成12年5月完成



臼杵城跡

大友宗麟によって築かれ、江戸時代は臼杵藩五万石の城とし
て幾多の歴史を積み重ねてきた臼杵城。平成13年に大門櫓
が復元されました。春になると約千本の桜が見事に咲き誇り
「臼杵城址桜まつり」が行われています。

美しい古典の名作
竹取物語、栄華物語、源氏
物語などの古典の名作がず
らり!
これらは江戸時代、臼杵
藩に嫁入りしてきたお姫様
たちの「嫁入り本」で、実際
にはあまり読まれておら
ず、きれいなまま保存され
ていたというもの。
展示では保存上特定の
ページのみ開きつばなしに
なることを避けるため、毎
週ページをめくっているそ
うなので、訪れる度に違った
シーンに出会えます。

臼杵市歴史資料館ご利用案内

- 開館時間/ 9:30~17:30 ※入館は17:00まで
- 休 館 日/ 火曜日(祝日のときはその翌日)および12/29~1/3
- 入 館 料/ 一般330円(280円) 学生160円(140円)
*()内は20名以上の団体または市内有料公開施設の共通券
(発券した日から3日以内)を保有する方の料金です。
- 通年手形/ 一般660円 学生330円 ※市内の学生は無料です。



心もカラダも湯ったり……
白杵の温泉
 おんせん県で有名な大分県。
 白杵にも色々な温泉があります。
 白杵の温泉で心もカラダも
 しっかり充電できます。
 ぜひお越しください。

【うすき薬師の湯】 白杵の新しい温泉です。地下深くから湧き出る熱湯には様々な成分が溶け込んでおり、温泉成分の濃度は通常の三倍で、独特のヌルヌル感が人気です。

白杵湯の里
 入浴時間／10:00～23:00(月曜日は22:00まで)
 入浴料／500円(大人)300円(小人)
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。
 問合せ／0972-65-3711



鷲来ヶ迫 温泉

伝統の「温冷交互浴」が人気で、風呂上りは肌が「キュッキュ」となります。
 ミネラル豊富な湯船に浸かり、身体をリフレッシュできます。

俵屋旅館
 入浴時間／4月～10月 16:00～(18:00受付)18:30
 11月～3月 16:00～(17:30受付)18:00
 入浴料／大人500円(中学生以上)300円(小学生以下)
 ※宿泊料についてはお問い合わせ下さい。 問合せ／0972-62-3526



「六ヶ迫 鉱泉」(源泉 薬師堂)

源泉水を飲むことができ、糖尿病などに効用があります。飲泉湯治による療養は今も人気で、遠方からの利用者が賑わっています。

問合せ／白杵六ヶ迫鉱泉保存会 0972-63-8210

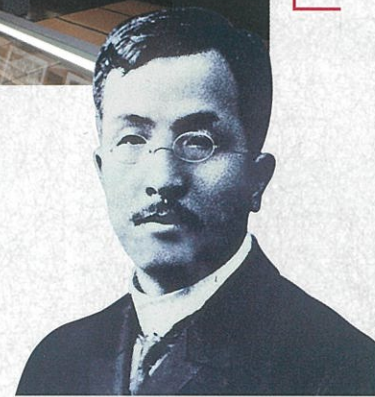


日本一のおんせん県おおいた



吉丸一昌記念館「早春賦の館」

市指定有形文化財
 板井家住宅、早春賦の
 作詞者として知られる
 吉丸一昌、夫人の実家で
 あった記念館には遺品
 や楽譜などゆかりの品
 を展示しています。



吉丸一昌記念館「早春賦の館」 TEL0972-63-7999
 大人(高校生以上)……………220円
 小人(小中学生)……………110円
 ※20人以上から団体割引があります。開館時間 8:30～17:00



旧平井家
 江戸時代の後期の建築様式をよくとどめた上級武士住宅。天井裏から発見された棟札によって安政6年(1859年)の建築であることが確認されました。

旧稲葉家別邸は、廃藩置県に伴って東京へ移住した旧藩主・稲葉家のうすき滞在所として明治三十五年(一九〇二年)に建設されたものです。稲葉家は東京移住後も、旧国立第百十九銀行などへの出資を行うなど、白杵の経済にも影響を与えました。旧平井家と同じ敷地内にあり同時に見学できます。

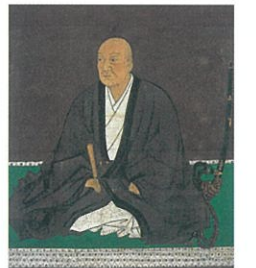
稲葉家下屋敷 ご利用案内

■開館時間: 9:00～17:00(最終入館は16:30)
 ■貸館利用料: 下屋敷本体(大書院・御居間・台所) 1時間当たり 410円
 ・離れ棟(西の間・大西の間) 1時間当たり各310円

■入館料 ●大人(高校生以上)……330円
 ●小人(小・中学生)……160円
 ※20人以上から団体割引があります。

江戸時代全時期を通じて、白杵藩主として海部大野大分三郡の内に領地(五万石)をもった稲葉氏は、慶長五年(1600年)12月、白杵に移封しました。初代貞通は、関ヶ原の合戦において家康方(東軍)に味方し、軍功によって美濃国(今の岐阜県)郡上八幡城から白杵へと転封されたのです。稲葉氏は元々伊予(今の愛媛県)河野氏の流れをくみ、本姓を越智氏といいます。白杵市立白杵図書館に残る「稲葉家譜」には、慶長5年11月、譜代の重臣達20人が先発隊として白杵に入り、竹田岡城の中川氏が守衛していた白杵城の受け取りを済ませ、翌12月25日、貞通が嫡子典通(2代藩主)などを伴って白杵に入ったと記されています。その後、明治4年(1871)、15代藩主久通の代で廃藩置県を迎えるまでの約270年間、質素倨約、勤勉といった言葉で表すことのできる、白杵人氣質の礎を作り上げていったのです。

稲葉家の歴史



(月桂寺蔵・稲葉貞通公肖像)

郷土出身の作家

野上弥生子文学記念館



夏目漱石書簡
 (明治40年1月17日)
 習作「明暗」に対して、
 率直な感想と小説の書き方を
 手にとるように教えている、
 最初の弥生子宛書簡です。

99才でこの世を去るまで文筆活動を送った野上弥生子の偉業をたたえるため、昭和61年に文学記念館が開館。現在の小手川酒造である、弥生子の生家の一부를記念館とし、館内では少女時代の勉強部屋も見学できるほか、逝去の直前まで執筆に使用されていた弥生子愛用の品々、夏目漱石から弥生子に宛てた手紙など、貴重な遺品が約200点展示、公開されています。

代表作
 「秀吉」と「利休」「海神丸」

野上弥生子文学記念館 TEL0972-63-4803
 大人(高校生以上)……………310円
 小人(小中学生)……………150円
 ※20人以上から団体割引があります。開館時間 9:30～17:00

旧白杵藩主 稲葉家下屋敷



大自然にめぐまれた 民話の里

自然環境に恵まれ、
天然記念物や文化遺産が
数多く残されている野津地域。
ゆかいなとんち話で知られる
吉四六さんのふるさとです。



吉四六ばなし

「馬に加勢」

山にたきぎを取りにきた吉四六さんは、たきぎの木を伐つていくつも
の束をつくって馬の背に乗せました。
荷が重いので馬はよろよろ。それを
見た吉四六さんは、「こりや、むげねえ
(かわいそう)のう。」

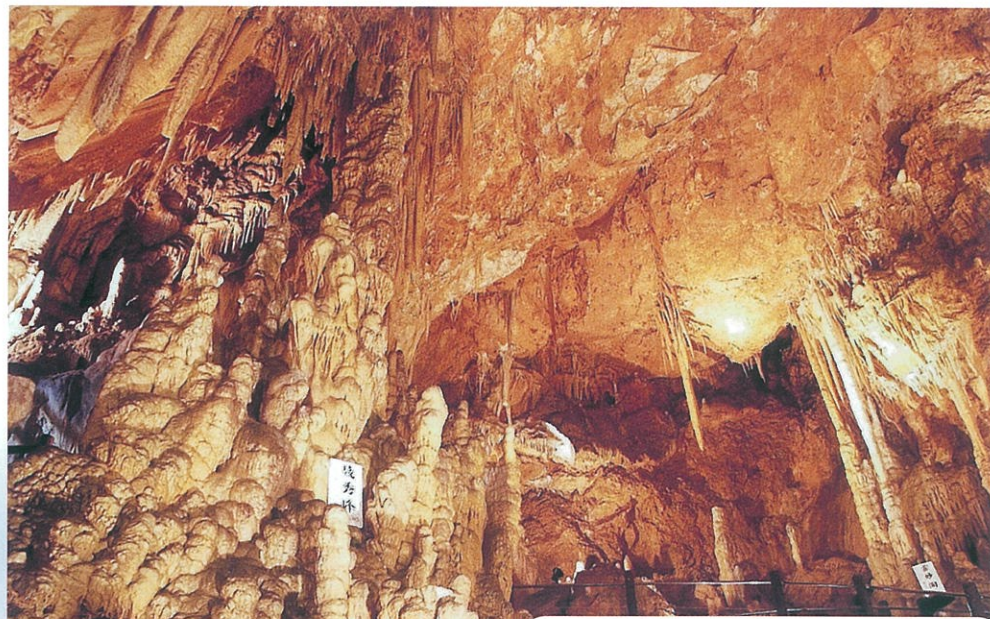
よし、わしがちつと加勢しちゃう
うと、たきぎの束を一つほど降ろし
て自分がかつぎました。

ところが今度は吉四六さんが重
い荷でよろよろ。そこで「アオよい、
おれが加勢しちゃつたんじゃけんそ
んかわりにわしを乗せて行つちよ
れ」そう言うと、吉四六さんは、た
きぎを背負ったまま馬に乗ってしま
いました。

これでは馬がたまりません。前より
も層々へと山になつて、山を下りてい
きました。



風連鍾乳洞 (国指定天然記念物)



風連鍾乳洞入場料

- ・大人(高校生以上).....1,000円
- ・小人(小・中学生).....700円
- (団体20名様以上1名につき100円引)

お問い合わせ 風連鍾乳洞観光協会 (駐車場有り)

〒875-0351 臼杵市野津町泊
TEL.0974-32-2547/FAX.0974-32-4112

営業時間:(3月~10月) 9:00~17:00
(11月~2月) 9:00~16:00

※台風や集中豪雨などで増水した場合、入洞不可となり
お休み致しますので予めご了承ください。

吉四六ランド



吉四六さんを感じ、自然に触れ合い、運動で
きる総合レジャーパーク。野津らしい食事と
吉四六さんばなし(月2回)が楽しめる吉四六
さんの家をはじめ、吉四六公園では、複合遊
具で遊べ、池の周りの藤やアジサイなどの四
季折々の花が楽しめます。多目的グラウンド
や野球場など運動施設もあり、幅広い世代
の方にご利用いただけます。春には約2,000
本の桜が咲き誇り、4月初めに吉四六まつり
が催されます。

金明孟宗竹 (県指定天然記念物)



孟宗竹の突然変異で鮮やかな緑色と黄色とが
交互に節を彩ります。昭和45年に民家で数本
が発見されて以来、県の特別保護林に指定さ
れています。5月が見頃。

普現寺



吉四六さんの菩提寺。紅葉シーズンになると
もみじが幻想的にライトアップされます。

グリーンツーリズム

臼杵時間、体感

豊かな環境のなかで自然体験や農業体験、
史跡めぐりなどを楽しむことができます。

グリーンツーリズムとは??

農村に滞在し、自然や文化、人との交流を楽しめる旅のスタイルです。
四季折々の食べ物を囲みながら地域の人と語り、透き通った川で遊んだりすることで、
自然の中で心の豊かさを感じることができます。



グリーンツーリズムの楽しみ方

地域の人と一緒に散歩する、農泊家庭に泊まって夜ごはんを一緒
に作りみんなでご飯を食べる、農泊家庭の縁側でただぼーっと
景色を眺めてみる、楽しみ方は自由自在です。あなたにあった過
ごし方を見つけてください。



吉四六さん村 グリーンツーリズム研究会

代表:川野 真平
臼杵市野津町野津901
TEL.0974-32-7181
FAX.0974-32-7764
Mail:info@kich46gt.com
http://www.kichi46gt.com

臼杵市グリーンツーリズム研究会

代表:森尾 真二
臼杵市野津町大字八里合631番地
TEL・FAX.0974-32-4387



本場 臼杵ふぐ

臼杵の先人達が、大切に育んできた食文化の一つにフグ料理があります。豊後水道の急流にもまれた臼杵のフグは、フグの中でも王様といわれる「トラフグ」です。市内には、フグ料理の店が多数あり、一年中、フグの贅沢な味わいを楽しむことができます。また、値段も手頃なことから、おいしいフグを求めて、全国各地より多くの人が訪れています。

うすき名物 かばすブリ

エサにカボスを混ぜて与えることにより、さっぱりした食感を味わえます。臼杵を代表する特産品カボスと、生産者が真心を込めて育てた養殖ブリがコラボした新しいブランド魚をお楽しみください。

うすき名物 カマガリ

カマガリは豊後水道の深海で獲れ、どんな料理法でもその美味しさを最大限に活かすことが出来るクセのない白身の魚であることから、知る人ぞ知る名魚として、県内外から高い評価を受けています。



カマガリバーガー

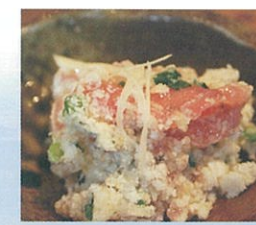
豊かな海で育つ臼杵の魚

臼杵市は豊後水道北部の臼杵湾に面しており、水産業が盛んな地域です。瀬戸内海からの潮流と太平洋からの黒潮がぶつかりあう「豊後水道」は、潮の流れが速く、プランクトンなどの餌も豊富であることから、そこで漁獲される魚の身のしまりや適度の脂の乗りは最高です。伝統的な漁法で一本一本丁寧に釣り上げ、徹底した品質管理を行う漁師の技とそのおいしさを最大限に引き出す料理人の技が織りなす「臼杵の魚」を、ぜひご堪能ください。

臼杵の 太刀魚



レースケ
標準和名は「クロアナゴ」といいます。豊後水道で獲れ昔から湯引きや天ぷらなど、様々な料理に活かされています。



きらすめし
脂の多い魚の身を醤油に漬けて、オカラと混ぜあわせる。臼杵藩時代から伝わる素朴な料理。



ぴんころうどん
野津産の甘太くんの葉を麺に練りこみ、芋を天ぷらにして上にのせた、ヘルシーに食べられる地産地消うどん。



かやく
エソなどの白身魚と豆腐、野菜を煮込んだ料理です。大晦日にたくさん作り、お正月の3日間の間、温めなおして食べていました。煮返せば煮返すほど美味しくなります。



黄飯
クチナシの実で黄色く色付けしたご飯で、財政難だった臼杵藩の殿様が、贅沢なお赤飯の代わりに作らせて食べ、家来にもふるまったのが始まりと言われています。



茶台寿司
臼杵では古くから伝わる伝統料理でネタは椎茸やレンコンなどの野菜が中心で、魚介類は旬の魚を酢で締めたものが使われています。シャリを握って上下にネタを付け、大皿に並べて出されるのが臼杵では一般的です。



うすき 銘菓・銘茶

銘菓

うすきせんべいは生姜の匂いと甘い砂糖の風味で、一度食べたら忘れられない味。約400年の稲葉氏入封の際、保存食として用いられていた米、麦、稗などの穀物を材料に焼いた食品が始まりと言われています。



お茶

遊休農地を活用した土地利用型農業として、約85haが栽培されています。有機のお茶もあり、映画「種まく旅人」の舞台にもなりました。



醸造の町 うすき



醸造のノウハウは臼杵の長い歴史で蓄積され、お酒造りから始まり、味噌や醤油など、臼杵の醸造業は西日本で大きなシェアを誇っています。



山の幸 うすき農産物



うすきほんまもん農産物は認証シールが目印です。

有機の里 うすきほんまもん農産物

臼杵夢堆肥などの完熟堆肥で土づくりを行った元気な畑の農産物!

特長①土の力をつくった農産物!

有機質肥料から力(栄養)をもらった元気な野菜たちです。

特長②臼杵市長が認定する農産物!

臼杵市が生産者の生産工程記録を審査し、栽培期間中に化学肥料が使われていないことが確認できた農産物を臼杵市長が承認します。

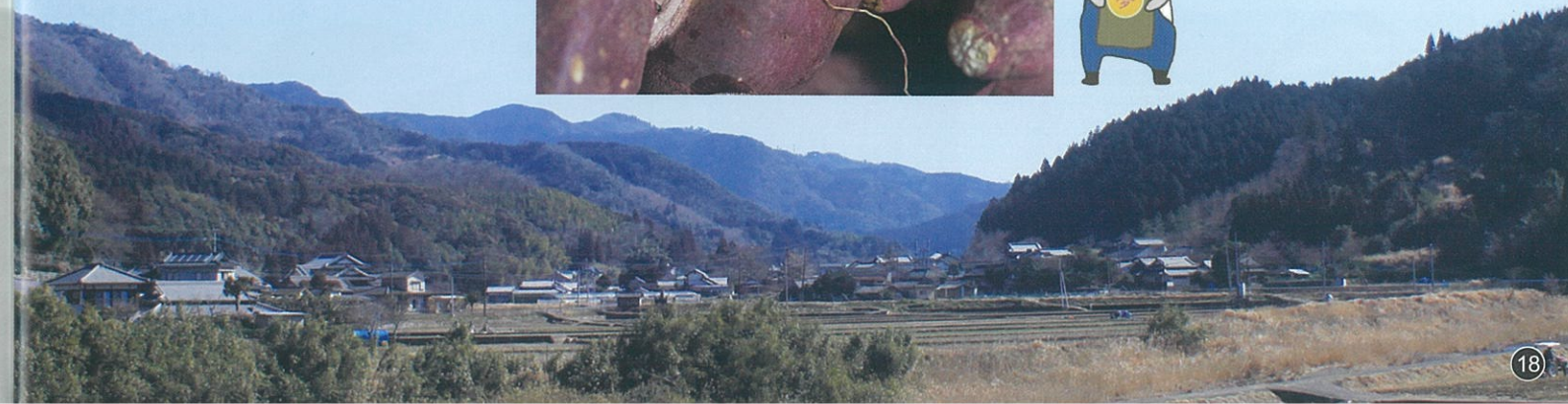


うすきカボス

臼杵を代表する特産物。その芳香と豊かな風味は、全国に知られている。臼杵での生産量は全国でもトップクラス。

甘太くん(べにはるか)

近年、さつまいもの品種「べにはるか」も生産量が拡大しています。収穫後、甘みを増すために専用の貯蔵施設で、一定管理温度のもとで40日以上貯蔵して誕生します。



春

県内屈指の桜の名所でしられる臼杵城址桜まつり。



臼杵城址桜まつり

夏

県下三大祇園のひとつで城下町臼杵にふさわしい壮観な祭りです。



臼杵祇園まつり

秋

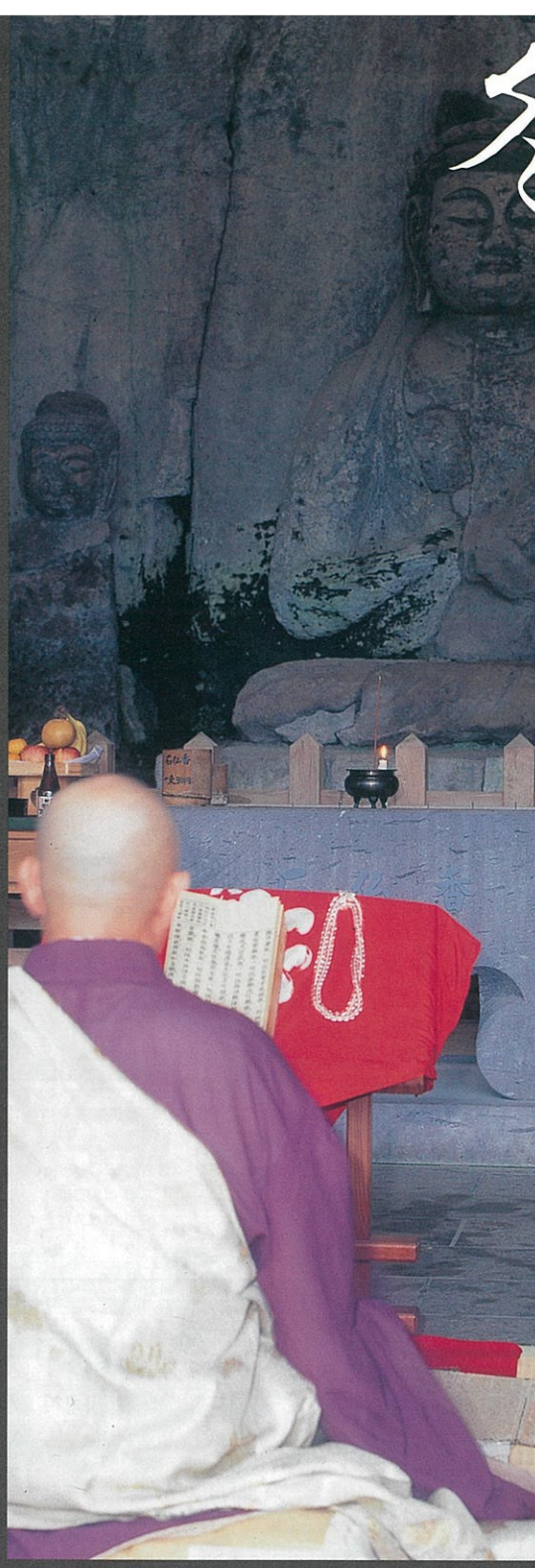
晩秋の夜、約2万本もの竹ぼんぼりにが幻想の世界へといざないます。



うすき竹宵

冬

大晦日深夜、松明や石仏の前に並ぶ篝火に二斉に火が灯され
幽玄の世界に包まれながら、心静かに新年を迎えることが出来ます。



国宝臼杵石仏年越供養法要

うすきのお祭り スケジュール

4月

臼杵城址桜まつり

(3月下旬～4月上旬)

吉四六まつり

(4月6日に近い日曜日)

東神野風流杖踊り(4月上旬)



5月

うすき節句(端午)まつり(上旬)

6月

黒島キャンプ・海水浴場開き(上旬)

7月

石仏の里蓮まつり(上旬)

臼杵祇園まつり(中旬)

福良天満宮夏季大祭(下旬)

住吉まつり(下旬)

8月

山内流遊泳大会(上旬)

西神野杖踊り(上旬)

ふるさと盆踊り大会(中旬)

国宝臼杵石仏火まつり(最終土曜日)



きつちよむの村の夏まつり(下旬)

八朔おどり(下旬)

王の字火まつり

(8月1日(旧暦)から3日間)

11月

うすき竹宵(第1土曜日)

白馬溪もみじまつり(下旬)

普現寺もみじライトアップ(下旬)

12月

国宝臼杵石仏年越供養法要

(年越イベント31日)

2月

うすき雛めぐり

(2月上旬から3月上旬)



